

令和6年度 決算6会計を認定

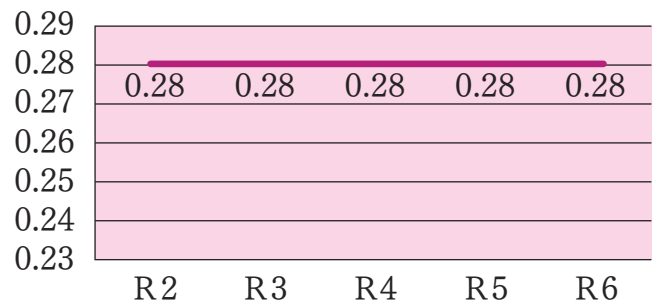
全6会計の決算額

		歳入	歳出	差引額
一般会計		296億 7,495万円	293億 7,523万円	2億 9,971万円
国民健康保険事業特別会計		45億 903万円	48億 1,160万円	△3億 257万円
後期高齢者医療特別会計		7億 3,774万円	7億 2,330万円	1,443万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		3,168万円	3,004万円	163万円
介護保険事業 特別会計	保険事業勘定	55億 7,055万円	54億 8,879万円	8,175万円
	サービス事業勘定	6,699万円	6,699万円	0円
水道事業会計	収益的収支	6億 2,814万円	6億 4,712万円	△1,897万円
	資本的収支	4,992万円	4億 9,863万円	△4億 4,870万円

※千円以下切り捨て

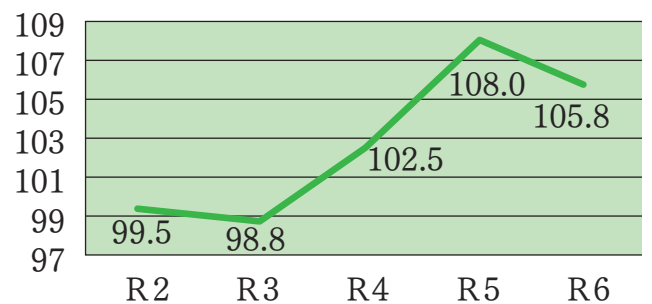
財政力指数

この指数が高ければ高いほど、自主財源の割合が高く、財政的に豊かということになります。なお、財政力指数は1未満の場合、普通交付税が交付されます。



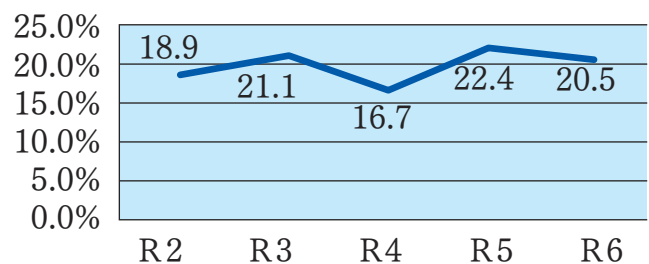
経常収支比率

人件費、扶助費、公債費などの経常的な支出が、市税や普通交付税などの経常的な収入に占める割合です。この比率が高いほど財政の柔軟性がないこととなります。



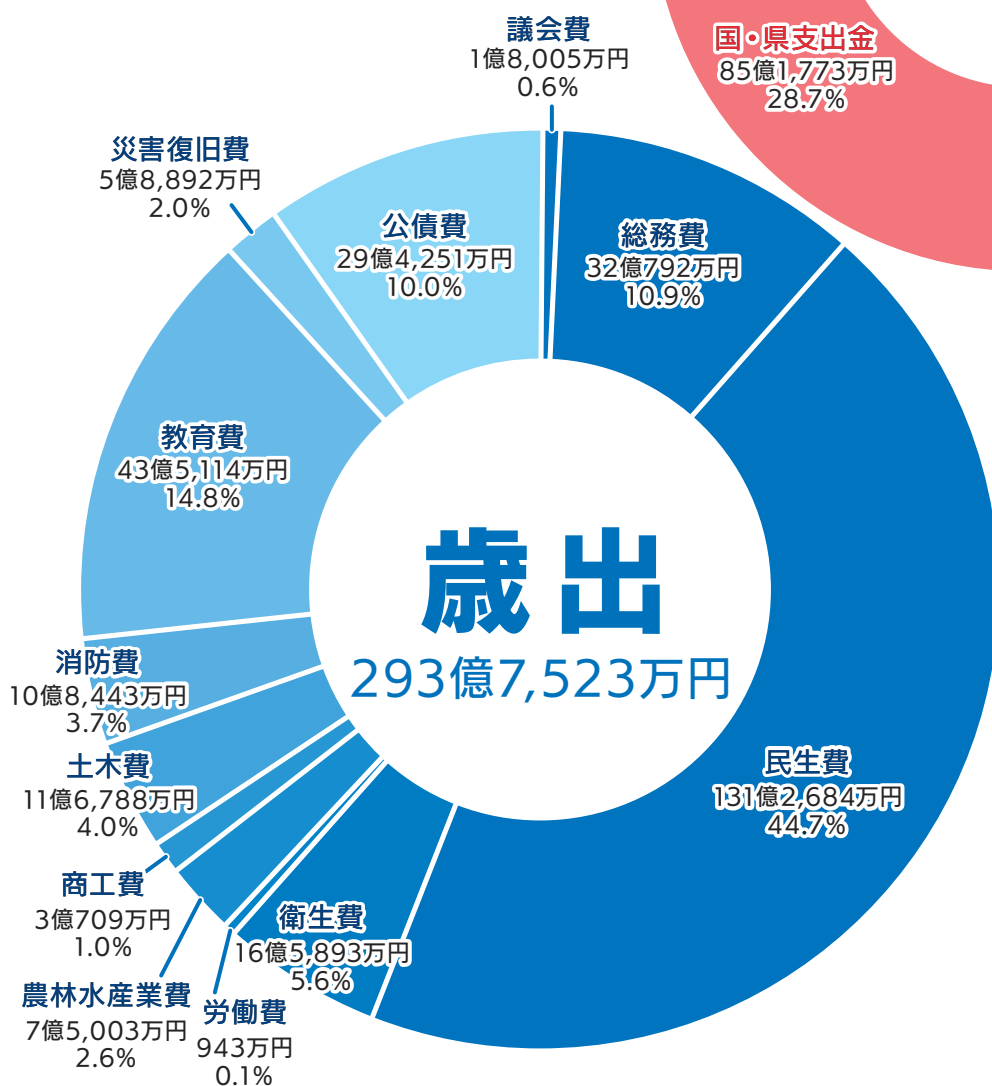
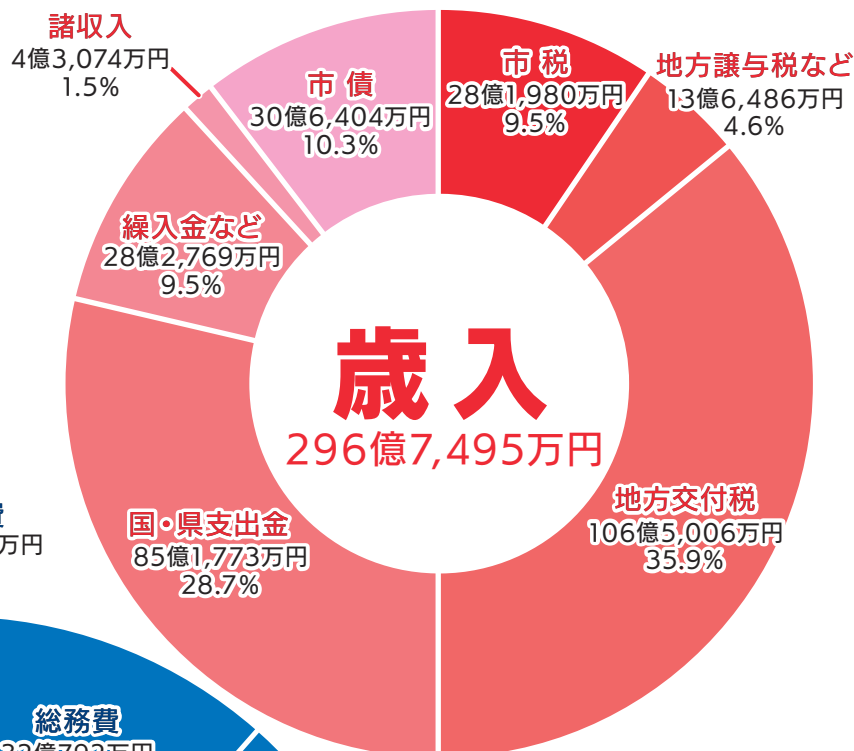
自主財源比率

歳入全体に占める自主財源の割合です。自主財源は、地方公共団体が自らの権限に基づいて、自主的に収入できる財源であり、自主財源の割合が大きいほど、その団体の財政運営の自主性と安定性が確保できることとなります。



財政難 長期戦に!

一般会計内訳



国保事業特別会計・水道事業会計、共に赤字
今後、水道料金の見直しも必要か...